

原三溪と 本牧のまちづくり

— 過去と現在の対話 —

原三溪市民研究会
第3回シンポジウム

日時：2016年11月12日(土)
13:30～16:30(開場13:00)

会場：横浜美術館 円形フォーラム

定員：100名 入場無料(先着順)
(総合案内横にて12:30より整理券配布)

主催：原三溪市民研究会 横浜美術館 三溪園

助成：公益信託 ヨコハマ中区まちづくり本牧基金



View of Honnoku, Yokohama. 景全原牧本濱横
明治終りから大正はじめの頃の本牧原全景



原三溪市民研究会 第3回シンポジウム

原三溪と本牧のまちづくり

—過去と現在の対話—

開催にあたって

横浜では、季節の変わり目に必ず美しい自然を背景にした三溪園の写真が様々なメディアに登場します。三溪園は横浜の顔として定着し、多くの人びとに親しまれています。

110年前、三溪園は「遊覧御随意」の看板を掲げ、現在の外苑部分を無料で公開しました。三溪園は本牧という地域にとどまらず、横浜になくてはならない名園として多くの人を惹きつけています。

今回のシンポジウムでは、原三溪がどのような構想で三溪園を築き、本牧のまちづくりを進めようとしたのかを、当時の資料をもとに明らかにします。

後半のフォーラムでは、戦後長く続いた米軍による接収が解除され賑やかさを取り戻した現在、本牧のまちづくりは過去の歴史から何を学び、どのような展望を描くことができるのかを考えてみたいと思います。

プログラム

第1部 13:30～14:30

基調講演 「善三郎の着眼と富太郎の本牧」

講師：内海 孝（東京外国語大学名誉教授）

（休憩）15分

第2部 14:45～16:30

フォーラム 「これからの本牧のまちづくり—課題と展望を考える」

パネリスト：石田 良男（本牧4南元気なまち運営委員会副会長）

伊波新之助（元朝日新聞編集委員）

大谷 卓雄（原三溪市民研究会）

小島 淳（原三溪市民研究会）

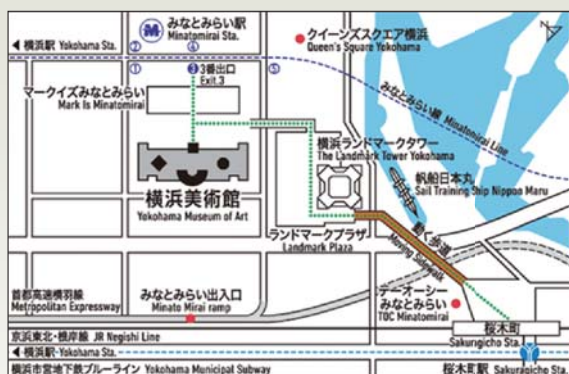
佐々木雄大（横浜国立大学准教授）

コーディネーター：猿渡紀代子（原三溪市民研究会顧問）



原三溪©三溪園

アクセス



横浜美術館 円形フォーラム

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

- ◆みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい〈グランドギャラリー〉経由、徒歩3分。または〈マークイズ連絡口〉（10時00分～）徒歩5分。
- ◆桜木町駅下車、【動く歩道】を利用、徒歩10分。

問合せ先

原三溪市民研究会 <http://www.harasankei-kenkyukai.com/form/> TEL:080-8708-5985